

2月のてがたんは雪のため中止になりました。てがたん下見の観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。
次回3月の「てがたん」は3月8日(土)で「春をさがそう」がテーマです。

ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは**3月1日(土)**です。よろしくお願いたします。

2月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→桃山公園→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2014年2月1日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 市民スタッフ 12人 (石原直子、伊東茂子、岡廣志、蒲田知子、小泉伸夫、須貝基康、竹本周平、弘寛さと子、古川克彌、松村定雄、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 3人 (塩田いづみ、小田谷嘉弥、村松和行)

観察記録 - 2月に観察した生き物リスト-

【鳥類】

カモ科：カルガモ、オナガガモ、コガモ/カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：コサギ/
クイナ科：バン、オオバン/シギ科：タシギ/タカ科：トビ/キツツキ科：コゲラ(声)/モズ科：モズ/カラス科：ハシボソガラス、
ハシブトガラス/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/メジロ科：メジロ(声)/ヒタキ科：アカハラ、ツグミ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ/
アトリ科：カワラヒワ/ホオジロ科：ホオジロ、アオジ、オオジュリン/外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

【貝類】

カワニナ

【昆虫・クモ】

チョウ・ガの仲間：イラガ(まゆ)/カマキリの仲間：ハラビロカマキリ(卵のう)/甲虫の仲間：コガタルリハムシ、ナミテントウ

【花】

キク科：セイヨウタンポポ/ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ/シソ科：ヒメオドリコソウ、ホトケノザ/ツバキ科：サザンカ(植栽)

2月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「冬越しする生き物」でした。下見では鳥たちの冬の餌となる生き物を集めながら、てがたんコースを歩きました。完成した鳥のお弁当は、ヨシの中に潜むカイガラムシ、イラガの繭（まゆ）、オオミノガのミノ、マテバシイのドングリ、セイタカアワダチソウの種、ハンノキの種、ヘクソカズラの実、ツバキ科の花でした。



今月の案内人 伊東茂子さん



① 斜面林を流れる水路で見つけたカワコナ



② 斜面林で見つけたハゼノキの種が入った哺乳類のフン



③ ヒヨドリやメジロがよく食べるサザンカの蜜や花粉



④ 哺乳類に食べられたと思われるシロハラ（翼）



⑤ 斜面林で見つけたヒヨドリ?の巣



オオジュリン

手賀沼沿いのヨシ原ではカイガラムシを食べるオオジュリンがよく見られました。



2月てがたんの観察生物とルート

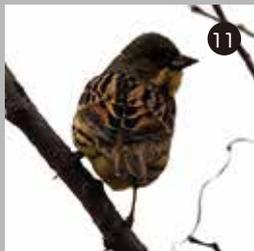


タシギ

フジ棚横の田んぼで餌を食べていたタシギ。よく見てみると小さなアメリカザリガニでした。



⑫ 下見の最後に姿をみせたアカハラ



⑪ 手賀沼遊歩道沿いの木々でよく姿をみせたアオジ



⑩ 餌が少ないせいか、人目も気にせず餌を探すオオジュリン



⑧ 手賀沼を泳ぐカンムリカイツブリ



⑦ フジ棚横の田んぼでタシギを3羽観察

今月の鳥 コゲラの餌事情

コゲラは公園や住宅地など身近な場所で見られるキツツキの仲間です。主に昆虫を食べ、木の幹や枝先につかまり、餌を探す姿を目にします。

手賀沼遊歩道沿いのサクラでは、イラガのまゆをつつくコゲラの姿をしばしば見かけます。イラガの固い繭（まゆ）の中にある前蛹（ぜんよう）がお目当てのようです。餌が少ない冬の間、コゲラにとって貴重なタンパク源になります。



イラガの繭をつつくコゲラ



繭



前蛹

イラガにはコゲラ以外にも様々な天敵がいます。外来種のイラガセイボウは、繭に穴を開けて卵を産みつける寄生昆虫です。その寄生率は高く、サクラで採集された243個の繭のうち、半数以上の135個が寄生されていたという報告もあります。